

# 令和4年度指導教諭の紹介

<b>教科（科目）</b> 工業（機械）	<b>1 授業の特徴</b> ・B5版の授業プリントを1,2枚でまとめる→提出→チェック後生徒に返却→各自でノートに貼付という流れを作り、授業に規則性を持たせています。今年度は観点別評価にも反映できるような授業プリントを模索する予定です。 ・工業は日常生活や実社会に関連することが多いので、情報系高校という本校の特徴も踏まえて、工業と情報分野に関連するトピックスを紹介する予定です。
<b>名前</b> (ふりがな) 後藤 憲二 (ごとう けんじ)	<b>2 教科指導に関して情報提供や協議が可能な事項</b> 「1 授業の特徴」に記述した内容について、またその授業展開に基づいた生徒アンケート結果からの考察など、それらの情報提供は可能です。
<b>勤務校</b> (問い合わせ先) 大分県立 情報科学高等学校 住所：〒870-0126 大分県大分市横尾 1605 番地  TEL：097-553-1212 FAX：097-553-1214	<b>3 研修講演等が可能なテーマ</b> 通算 21 年間クラス担任をしました。若年教員対象にクラス運営のコツ、押さえておきたいこと、またそこから発展した教科に関するアドバイスはできるものと思います。
<b>授業公開の日程</b> 3 年電子計測制御 火、金曜 1 限 3 年製図（総合選択） 水曜 1 限、金曜 3 限	<b>4 活動実績</b> 視聴覚教育研究大会研究授業（H2 津久見）、「専門学科の特色を活かした人権教育」公開授業（H7 津久見）、文科省指定研究報告会での公開授業（H13 大工）、「課題研究と福祉活動」に関する公開授業（H14 大工）、「生徒とともに～おおいた国体 18 市町村炬火台」活動（H19 大工定）、全国工業教育指導者養成研修会参加、工業部会での講演（H25 鶴工）、「指導教諭をリーダーとしたチームによる授業改善活動」（R3 宇佐産業科学）など。
	<b>5 自己紹介、プロフィールなど</b> 指導教諭になって今年で 5 年目になります。H2 年に津久見で新採用、津久見（6 年）→大工（8 年）→大工定（5 年）→鶴工（8 年）→新津久見（2 年）→宇佐産業科学（3 年）を経て本校 1 年目です。大工、鶴工でテニス顧問したときすぐに練習に出られないので、部員を学年縦割りの班に分け、班ごと生徒に練習メニューを考えさせ、「その練習をする目的は？」など問いながら練習させていました。今考えると主体的、対話的な学びに通じる要素があったかと思います。
	<b>6 学校紹介</b> 本校は大分市横尾の高台に位置する、工業・商業科を有した専門高校です。今後注目される「IoT」、「AI」、「ネットワーク」、「データサイエンス」などの分野の人材を育成するため、ハード面では生徒用パソコン 300 台を常備し、加えて 3D プリンタやレーザーカッター、競技型ドローンなど最新設備も導入しました。またソフト面では校内に常駐する企業とコラボし、デザインシンキング手法「アイデアソン」を取り入れるなど「Society5.0」を見据えた取り組みが注目され、最近是非常に人気の高い高校となっています。
	<b>7 学校や関係 HP のリンクなどアドレス</b> 学校のホームページ <a href="http://kou.oita-ed.jp/jouhoukagaku/">http://kou.oita-ed.jp/jouhoukagaku/</a>